

福島県災害対策本部会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

1 日 時：平成23年3月19日（土） 20:00～20:30

2 場 所：自治会館303号室

3 内 容：

○開 会

(1) 最新の被害状況について

松本副知事：

最新の被害状況について、説明願いたい。

事務局：（別紙第51報により説明）

(2) 屋内避難区域内の市町村の意向による避難について

文化・スポーツ局長：

本日スタートした国と県とのスキームに基づく市町村の意向に基づく県外への移転であるが、飯舘村は313名が栃木県に向かった。南相馬市は270名が途中スクリーニングを受けてもらった。それぞれ順調に目的地に向かったという報告を受けている。皆特に異常ないとの結果であった。明日は南相馬で500名が新潟県に向かうことになっている。飯舘村は230名が栃木県に向かうことになっている。明後日以降は飯舘村が明日の状況を見てという状況である。

(3) 屋内避難区域内の避難所の状況について

文化・スポーツ局長：

南相馬市の避難所は、設営設置が約30ヶ所、今残っているのが約5ヶ所、合計で288名の方がいる。その中で、体の不自由な方が10名ちょっとといふ。

(4) 県内の避難所について

保健福祉部長：

医療機関7機関のうち、3機関は昨日まで完了した。4機関は今日それぞれ搬出を開始する。明日も継続する。

(5) 県内の避難所について

病院局長：

避難所支援の職員は、3月22日から16名が県内の避難所支援に当たってもらう。現在場所は今調整中。

(6) 県外に設置された避難所の支援について

観光交流局長：

県外の避難所の状況は、6県に県職員を派遣して到着して活動を開始し県民、

C

C

市町村民の方の支援に当たっている。千葉県にも派遣をしたいと考えている。

(7) 避難所入居者情報センターについて

企画局長：

避難所入居者の情報を提供するセンターを設置する。センターには電話による問い合わせに対応する。朝8時から夜22時まで、電話は2本引いている。

(8) 燃料關係について

商工労働部長：

避難所用の灯油は中通りの避難所に市町村を通して灯油が行き渡る手配をした。今後会津方面に広げていけるように手配をしたい。ガソリンは、浜通から避難している方が中通り近辺にいるので、そういう方を中心ガソリンの手当ができるように対応をしていく。

(9) 物資について

農林水産部長：

神奈川県から海上自衛隊の護衛艦が水、食糧、毛布等をいわき市に供給した。

(10) 相馬港について

土木部長：

相馬港の一部が2号埠頭のうち第4号岸壁で、7万トンクラスの船が使えるようになった。

(11) モニタリング結果について

生活環境部次長：

県北福島市のモニタリングの数値が1.9を割り込む数字になった。

(12) 川俣町の酪農家について

農林水産部長：

川俣町の酪農家は現在13戸である。今後毎日原乳を検査する。

松本副知事：

結果が出るまでどれくらいかかるのか。

農林水産部長：

サンプル採取後1両目くらい。

(13) 「福島県放射線健康リスク管理アドバイザーの就任について

企画調整部長：

放射線に関しては県民からもいろいろ問合せがある。県でも相談窓口を開設しているが、専門的な立場からアドバイスできる方を委嘱した。長崎大学から、山下 俊一先生、また、高村 昇先生のお二人。県民の皆さまの不安に対する確実に回答していくためのアドバイスをいただきたい。早速明日は平体育馆において説明会を開催する。中通りの地域でも順次福島市、郡山市で説明会を開催する。

(

(

2011-03-20 07:46 FROM ホウイフクマ ケンヂョウ4

TO 7640 ワズ

P.04

知 事:

今回の災害で県民は非常に不安を感じている。お二人には、専門的なアドバイスをいただき、県民の不安に対して正確な情報伝達を行い、正確に、適時に、しっかりと伝えていただきたい。

○開 会

- 3 -

4 / 9

4 / 9

:0245344105

11-03-20 08:37AM;福島県北原謙蔵(事務所)

(

(